ポインティング デバイスおよびキーボード
ユーザ ガイド

製品についての注意事項

このユーザ ガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いのコンピュータで対応していない場合もあります。

目次

6 テンキーの使用

7 タッチパッドとキーボードの清掃

1 ポインティング デバイスの使用

名称		説明
(1)	タッチパッド ランプ	● 消灯：タッチパッドが有効になっています ● オレンジ色：タッチパッドが無効になっています
(2)	タッチパッド オン/オフ切り替え	fn キーと一緒に押すと、タッチパッドの有効/無効が切り替わります
(3)	ポインティング ステック*	ポインタを移動して、画面上の項目を選択したり、アクティブにしたりします
(4)	fn キー	f5 キーと一緒に押すと、タッチパッドの有効/無効が切り替わります
(5)	左のポインティング ステック ボタン*	外付けマウスの左ボタンと同様に機能します
(6)	タッチパッド*	ポインタを移動して、画面上の項目を選択したり、アクティブにしたりします
(7)	左のタッチパッド ボタン*	外付けマウスの左ボタンと同様に機能します
(8)	右のタッチパッド ボタン*	外付けマウスの右ボタンと同様に機能します
(9)	タッチパッドのスクロール ゾーン	画面を上下にスクロールします

名称		説明
（10）	右のポインティング スティック ボタン*	外付けマウスの右ボタンと同様に機能します
*この表では初期設定の状態について説明しています。ポインティング デバイスの設定を表示したり変更したりするには、**[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[ハードウェアとサウンド]**→**[マウス]**の順に選択します。上の図は英語版のキー配列です。日本語版のキー配列とは若干異なります。		

ポインティング デバイス機能のカスタマイズ

ボタンの構成、クリック速度、ポインタ オプションのような、ポインティング デバイスの設定をカスタマイズするには、Windows®の[マウスのプロパティ]を使用します。

[マウスのプロパティ]にアクセスするには、**[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[ハードウェアとサウンド]**→**[マウス]**の順に選択します。

タッチパッドの使用

タッチパッドのボタンは、外付けマウスの左右のボタンと同様に使用します。タッチパッドのスクロール ゾーンを使用して画面を上下にスクロールするには、スクロール ゾーンの線上で指を上下にスライドさせます。

注記： ポインタの移動にタッチパッドを使用している場合、まずタッチパッドから指を離し、その後でスクロール ゾーンに指を置きます。タッチパッドからスクロール ゾーンへ指を動かすのみでは、スクロール機能はアクティブになりません。

ポインティング スティックの使用

ポインタを移動するには、画面上でポインタを移動したい方向にポインティング スティックを押します。ポインティング スティックの左右のボタンの使い方は、外付けマウスの左右のボタンと同じです。

外付けマウスの接続

USB コネクタのどれかを使用して外付け USB マウスをコンピュータに接続できます。外付けマウスは、別売のドッキング デバイスを使用してシステムに接続することもできます。

2 キーボードの使用

キーボード ライトの使用

キーボード ライトを使用して、周囲が暗いときにコンピュータのキーボードを照らすことができます。

▲ キーボード ライトを開いて点灯するには、キーボード ライト ボタンを押します。

▲ キーボード ライトを消して閉じるには、カチッと音がして所定の位置に収まるまでキーボード ライトをゆっくり押します。

ホットキーの使用

ホットキーは、fn キー（1）と esc キー（2）またはファンクション キー（3）のどれかの組み合わせです。

f3 ～ f5、および f8 ～ f11 の各キーのアイコンは、ホットキーの機能を表しています。ホットキーの機能および操作については以下の項目で説明します。

注記： お使いのコンピュータの外観は、図と多少異なる場合があります。また、以下の図は英語版のキー配列です。日本語版のキー配列とは若干異なりますが、内蔵テンキーの位置は同じです。

機能	ホットキー
システム情報を表示する	fn + esc
スリープを開始する	fn + f3
画面を切り替える	fn + f4
タッチパッドの有効/無効を切り替える	fn + f5
バッテリ情報を表示する	fn + f8
画面の輝度を下げる	fn + f9
画面の輝度を上げる	fn + f10
周辺光センサを有効にする	fn + f11

ホットキー コマンドをコンピュータのキーボードで使用するには、以下のどちらかの操作を行います。

- 短く fn キーを押してから、ホットキー コマンドの 2 番目のキーを短く押します。

  または

- fn キーを押しながらホットキー コマンドの 2 番目のキーを短く押した後、両方のキーを同時に離します。

システム情報を表示する（fn ＋ esc）

fn ＋ esc を押すと、システムのハードウェア コンポーネントおよびシステム BIOS のバージョン番号に関する情報が表示されます。

Windows では、fn ＋ esc を押すと、システム BIOS（基本入出力システム）のバージョンが BIOS の日付として表示されます。一部の機種では、BIOS の日付は 10 進数形式で表示されます。BIOS の日付はシステム ROM のバージョン番号と呼ばれることもあります。

スリープを開始する（fn ＋ f3）

△ **注意：** データの損失を防ぐため、スリープを開始する前に必ずデータを保存してください。

スリープを開始するには、fn ＋ f3 キーを押します。

スリープを開始すると、情報がシステム メモリに保存され、画面表示が消えて節電モードになります。コンピュータがスリープ状態のときは電源ランプが点滅します。

スリープを開始する前に、コンピュータの電源が入っている必要があります。

注記： コンピュータがスリープ状態のときに完全なロー バッテリ状態になった場合、コンピュータはハイバネーションを開始して、メモリ内の情報をハードドライブに保存します。完全なロー バッテリ状態になった場合、出荷時設定ではハイバネーションを開始しますが、この設定は Windows の[コントロール パネル]の[電源オプション]で変更できます。

スリープ状態を終了するには、電源スイッチを右方向に短くスライドさせます。

fn ＋ f3 ホットキーの機能は変更することができます。たとえば、スリープではなくハイバネーションを開始するように fn ＋ f3 ホットキーを設定することもできます。

注記： Windows オペレーティング システムのウィンドウでの「**スリープ ボタン**」に関する記述はすべて、fn ＋ f3 ホットキーに当てはまります。

画面を切り替える（fn ＋ f4）

システムに接続されているディスプレイ デバイス間で画面を切り替えるには、fn ＋ f4 を押します。たとえば、コンピュータに外付けモニタを接続している場合は、fn ＋ f4 を押すと、コンピュータ本体のディスプレイ、外付けモニタのディスプレイ、コンピュータ本体と外付けモニタの両方のディスプレイのどれかに表示画面が切り替わります。

ほとんどの外付けモニタは、外付け VGA ビデオ方式を使用してコンピュータからビデオ情報を受け取ります。fn ＋ f4 ホットキーでは、コンピュータからビデオ情報を受信する他のデバイスとの間でも表示画面を切り替えることができます。

以下のビデオ伝送方式が fn ＋ f4 ホットキーでサポートされます。かっこ内は、各方式を使用するデバイスの例です。

- LCD（コンピュータ本体のディスプレイ）
- 外付け VGA（ほとんどの外付けモニタ）
- S ビデオ（S ビデオ入力コネクタが装備されているテレビ、ビデオ カメラ、DVD プレーヤ、ビデオ デッキ、およびビデオ キャプチャ カード）

注記： S ビデオ デバイスをシステムに接続するには、別売のドッキング デバイスを使用する必要があります。

- HDMI（HDMI コネクタが装備されているテレビ、ビデオ カメラ、DVD プレーヤ、ビデオ デッキ、およびビデオ キャプチャ カード）
- コンポジット ビデオ（コンポジット ビデオ入力コネクタが装備されているテレビ、ビデオ カメラ、DVD プレーヤ、ビデオ デッキ、およびビデオ キャプチャ カード）

注記： コンポジット ビデオ デバイスをシステムに接続するには、別売のドッキング デバイスを使用する必要があります。

タッチパッドの有効/無効を切り替える（fn ＋ f5）

fn ＋ f5 キーを押すと、タッチパッドが有効または無効になります。

バッテリ充電情報を表示する（fn ＋ f8）

fn ＋ f8 を押すと、コンピュータに取り付けられているすべてのバッテリの充電情報が表示されます。この表示から、充電中のバッテリと、各バッテリの残量を確認できます。

画面の輝度を下げる（fn ＋ f9）

fn ＋ f9 を押すと、画面の輝度が下がります。このホットキーを押し続けると、輝度が一定の割合で徐々に下がります。

画面の輝度を上げる（fn ＋ f10）

fn ＋ f10 を押すと、画面の輝度が上がります。このホットキーを押し続けると、輝度が一定の割合で徐々に上がります。

周辺光センサを有効にする（fn ＋ f11）

周辺光センサの有効/無効を切り替えるには、fn ＋ f11 を押します。

3 [HP Quick Launch Buttons]（HP クイック ローンチ ボタン）の使用

[HP Quick Launch Buttons]を使用すると、頻繁に使用するプログラム、ファイルまたは Web サイトをすばやく開くことができます。以下の表に記載する初期設定を使用できます。また、[HP Quick Launch Buttons]の[設定]で[Q Menu]（Q メニュー）を起動して、ボタンを再設定することもできます。

[HP Quick Launch Buttons]には、プレゼンテーション ボタン（**1**）およびインフォ ボタン（**2**）が含まれます。

以下の表に、[HP Quick Launch Buttons]の初期設定を示します。

注記： ボタンの機能は、お使いのコンピュータにインストールされているソフトウェアによって異なります。

	名称	説明
（1）	プレゼンテーション ボタン	[Presentation Options]（プレゼンテーション オプション）ウィンドウを開きます。このウィンドウを使用すると、頻繁に使用するプレゼンテーション、ファイル、プログラム、または Web サイトを開始できます。また、画面表示を最適な設定に調整することもできます
（2）	インフォ ボタン	[Info Center]（インフォ センター）を起動します。ここには、以下のような機能へのショートカットが含まれています

名称	説明
	注記： お使いのコンピュータによっては、一覧に記載されていても、一部の機能が搭載されていない場合があります。 ● HP Wireless Assistant ● HP ProtectTools スイート ● HP 3D DriveGuard ● HP ヘルプとサポート ● HP ノートブック オプション製品ツアー ● HP 製品ユーザ ガイド ● HP Connection Manager ● HP Software Setup ● Presto!BizCard 5

[HP Quick Launch Buttons]（HP クイック ローンチボタン）の[設定]へのアクセス

[HP Quick Launch Buttons]の[設定]にある[Q Menu]（Q メニュー）を使用すると、インフォ ボタンおよびプレゼンテーション ボタンの設定をカスタマイズできます。どちらのボタンも頻繁に使用するプログラムを起動する場合に使用できます。

[HP Quick Launch Buttons]の[設定]画面は、以下のどちらかの方法で開くことができます。

- **[スタート]→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[HP Quick Launch Buttons]**の順に選択します。

  または

  通知領域の**[HP Quick Launch Buttons]**アイコンを右クリックして、以下のタスクのどれかを選択します。

  - [HP Quick Launch Buttons]のプロパティを調整する
  - [Q Menu]を起動する
  - プレゼンテーションをオンにする
  - 周辺光センサをオフにする

[Q Menu]（Q メニュー）の表示

[Q Menu]を使用すると、[HP Quick Launch Buttons]（HP クイック ローンチ ボタン）の設定にすばやくアクセスできます。

デスクトップに[Q Menu]を表示するには、以下の操作を行います。

▲ タスクバーの右端にある通知領域の**[HP Quick Launch Buttons]**アイコンを右クリックし、**[Q Menu の起動]**を選択します。

注記： [Q Menu]の項目に関する画面上での説明については、ウィンドウの右上隅にあるヘルプ ボタンを選択してください。

4 [HP QuickLook 2]の使用

[HP QuickLook 2]を使用すると、オペレーティング システムを起動しなくても、[Microsoft® Outlook]の電子メール、予定表、連絡先、および仕事の情報を表示できます。[HP QuickLook 2]が設定されていれば、コンピュータの電源が切れているときやハイバネーションのときに、コンピュータのインフォ ボタンを押すことで、すぐに重要な情報にアクセスできます。

[HP QuickLook 2]の設定

[HP QuickLook 2]を設定するには、以下の手順で操作します。

1. [Microsoft Outlook]を開きます。

   [Microsoft Outlook]のツールバーに[HP QuickLook 2]の 2 つのアイコンが表示されます。

   [QuickLook 2 Preferences]（QuickLook 2 の設定）アイコンでは、自動データ収集の設定を行えます。

   [QuickLook Capture]（QuickLook への取り込み）アイコンでは、自動取得に加え、[HP QuickLook 2]の情報取り込みを手動で開始できます。

   注記： 大半のタスクでは、[QuickLook 2 Preferences]アイコンを使用します。

2. [Microsoft Outlook]のツールバーにある **QuickLook 2 Preferences** アイコンをクリックします。

   [QuickLook 2 Preferences]ダイアログ ボックスが表示されます。

3. 以下の設定を行います。

   - [HP QuickLook 2]で[Microsoft Outlook]から情報を取り込み、ハードドライブに保存する時点
   - 予定表、連絡先、電子メール、仕事で表示するデータの種類

4. 必要に応じて、[Security]（セキュリティ設定）を選択し、個人識別番号（PIN）を設定します。

手動での情報収集の使用

事前に設定された間隔で情報収集を行うように[HP QuickLook 2]を設定済みであっても、[Microsoft Outlook]のアカウントにログインしている間は、いつでも[Microsoft Outlook]の情報を手動で収集し、保存することができます。

[HP QuickLook 2]の使用

以下の表で示されているとおり、インフォ ボタンの動作はコンピュータの電源の状態によって異なります。

電源の状態	ボタンの動作
オフ	[HP QuickLook 2]が起動します
ハイバネーション	[HP QuickLook 2]が起動します
オン	[Info Center]が起動します
スリープ	コンピュータを元の状態に戻します

注記： [HP QuickLook 2]は、出荷時の設定で有効になっています。システム BIOS で[HP QuickLook 2]を無効にした場合、コンピュータの電源がオンのときにインフォ ボタンを押すと[Info Center]が起動します。コンピュータの電源がオフ、ハイバネーション、またはスリープのときは、インフォ ボタンを押しても何も起こりません。

詳細情報

[HP QuickLook 2]のセットアップと使用方法について詳しくは、[HP QuickLook 2]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

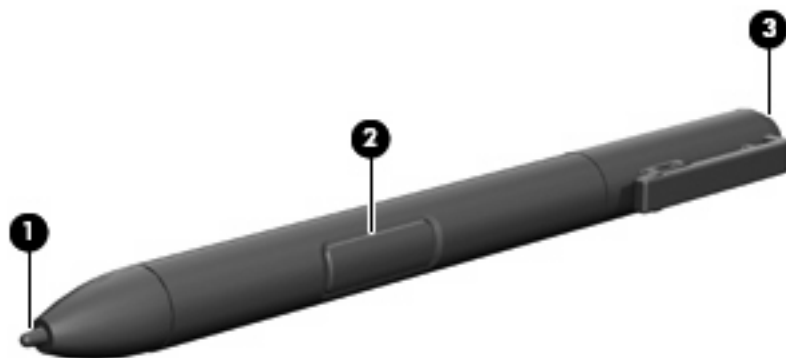
5　ペンとタブレットの設定の使用

ペンとタブレットの設定を使用してタブレット PC に情報を入力したり、アクセスしたりできます。

ペンの使用

タブレット PC 入力パネルなどのペン用プログラム、すべての Microsoft Office アプリケーション、およびその他のほとんどの Windows プログラムとユーティリティで、ペンを使用して書くことができます。ペンを使用して画面に書いた情報を、ファイルに保存し、検索し、ほとんどの Windows プログラム間で共有できます。

ペンの各部の名称

ペン先（**1**）または消しゴム（**3**）を画面から約 1.27 cm（0.5 インチ）以内に近づけるとタブレット PC がペンに反応します。ペン ボタン（**2**）は、外付けマウスの右ボタンと同様に機能します。

ペンの持ち方

ペンの持ち方は、通常のペンまたは鉛筆と同じです。ただし、間違えてペン ボタンを押さない位置でペンを持ちます。

ペンの動きを追うとき、ペン先ではなくポインタを見るようにしてください。

ペンを使用したマウスのクリック操作

▲ 外付けマウスの左ボタンの場合と同様に画面上の項目を選択するには、ペン先でその項目をタップします。

▲ 外付けマウスの左ボタンの場合と同様に画面上の項目をダブルクリックするには、ペン先でその項目を 2 回タップします。

▲ 外付けマウスの右ボタンの場合と同様に項目を選択するには、ペン ボタンを押しながらペン先でその項目をタップします。

ペンを使用したその他の操作

マウスのクリックと同じ操作以外にも、以下の操作をペンで実行できます。

- ポインタの位置を表示するには、タブレット PC の画面のすぐ上にペン先をかざします。このとき、ペン先が画面に触れないようにしてください。
- 画面上の項目に関するメニュー オプションを表示するには、ペン先で画面をタップします。
- ペンで入力するには、ペン先で画面に書きます。
- ペンで起動するボタンを押すには、ペン先でそのボタンをタップします。
- ペンで消すには、ペンの消しゴム側を下にして持ち、削除したい内容の上で消しゴムを動かします。

圧力感知

タブレット PC のペンには、圧力感知機能が備わっています。つまり、ペンの筆圧の強弱に応じて異なる太さの線を描くことができます。

注記： この機能は、タブレット PC 入力パネル ソフトウェアが有効になっている場合のみ使用できます。

ペンの調整

ペンは、初期設定時の調整状態でも別のユーザが行った調整状態でも動作します。ただし、自分の書き方とマウス操作の動きに合わせて調整した状態でペンを使用することを強くおすすめします。調整によって、すべてのユーザ、特に左利きのユーザが最適な状態でペンを使用できるようになります。

ペンを調整するには、以下の手順で操作します。

1. **[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[ハードウェアとサウンド]**→**[タブレット PC 設定]**の順に選択します。
2. **[全般]**タブの下にある**[調整]**ボタンをタップします。
3. 画面の説明に沿って操作します。
   - 各調整マーカの真ん中を正確にペンでタップします。調整マーカは、画面上にプラス記号（＋）で表示されます。
   - 縦方向と横方向の両方で使用できるようにペンを調整してください。

注記： **[タブレット PC 設定]**ウィンドウでの設定に関する情報を表示するには、そのウィンドウの右上隅にある**[ヘルプ]**ボタンを選択して、目的の設定を選択します。

ペン ホルダの使用

コンピュータのペン ホルダからペンを外すには、ペンをいったん押し込んでから取り出します。

ペンを使用しないときは、コンピュータのペン ホルダにペン先からペンを挿入して保管します。

ペンの設定

ペンの設定は、オペレーティング システムの**[タブレット PC 設定]**ウィンドウで行います。この設定には、右利きユーザまたは左利きユーザ用の画面メニューの位置の設定、ペン用の画面調整、手書き認識の最適化などがあります。

ペン設定にアクセスするには、以下の操作を行います。

▲ **[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[ハードウェアとサウンド]**→**[タブレット PC 設定]**の順に選択します。

ペン オプションは[ペンと入力デバイス]ウィンドウで設定されます。オプションには、ダブルタップやプレス アンド ホールドの設定、ペン ポインタ オプション、およびフリック設定があります。

ペンのオプションにアクセスするには、以下の操作を行います。

▲ **[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[ハードウェアとサウンド]**→**[ペンと入力デバイス]**の順に選択します。

[タブレット PC 設定]ウィンドウと**[ペンと入力デバイス]**ウィンドウで行った設定とオプションの指定は、ペンとタブレット PC のみに適用されます。ポインタの速度、クリックの速度、マウスの軌跡などのポインティング デバイスの設定は、**[マウスのプロパティ]**ウィンドウで設定します。この設定は、システムのすべてのポインティング デバイスに適用されます。

[マウスのプロパティ]にアクセスするには、以下の操作を行います。

▲ **[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[ハードウェアとサウンド]**→**[マウス]**の順に選択します。

6 テンキーの使用

このコンピュータにはテンキーが内蔵されています。また、別売の外付けテンキーや、テンキーを備えた別売の外付けキーボードも使用できます。

注記： お使いのコンピュータの外観は、図と多少異なる場合があります。また、以下の図は英語版のキー配列です。日本語版のキー配列とは若干異なりますが、内蔵テンキーの位置は同じです。

	名称	説明
(1)	内蔵テンキー	外付けのテンキーと同じように使用できます
(2)	fn キー	ファンクション キーまたは esc キーと組み合わせて押すことによって、頻繁に使うシステムの機能を実行します
(3)	Num Lock ランプ	点灯：Num Lock がオン（内蔵テンキーがオン）の状態です
(4)	num lk キー	fn キーと一緒に押すと、内蔵テンキーの有効/無効が切り替わります

内蔵テンキーの使用

内蔵テンキーの 15 個のキーは、外付けテンキーと同様に使用できます。内蔵テンキーが有効になっているときは、テンキーを押すと、そのキーの手前側面にあるアイコン（日本語キーボードの場合）で示された機能が実行されます。

内蔵テンキーの有効/無効の切り替え

内蔵テンキーを有効にするには、fn ＋ num lk キーを押します。Num Lock ランプが点灯します。fn ＋ num lk キーをもう一度押すと、通常の文字入力機能に戻ります。

注記： 外付けキーボード、テンキー、または別売のドッキング デバイスがコンピュータに接続されている場合、内蔵テンキーは機能しません。

内蔵テンキーの機能の切り替え

fn キーまたは fn ＋ shift キーを使って、内蔵テンキーの通常の文字入力機能とテンキー機能を一時的に切り替えることができます。

- テンキーが無効になっているときにテンキーの機能をテンキー入力機能に変更するには、fn キーを押したままテンキーを押します。
- テンキーが有効な状態でテンキーの文字入力機能を一時的に使用するには、以下の操作を行います。
  - 小文字を入力するには、fn キーを押したまま文字を入力します。
  - 大文字を入力するには、fn ＋ shift キーを押したまま文字を入力します。

別売の外付けテンキーの使用

通常、外付けテンキーのほとんどのキーは、Num Lock がオンのときとオフのときとで機能が異なります（出荷時設定では、Num Lock はオフになっています）。たとえば、以下のようになります。

- Num Lock がオンのときは、数字を入力できます。
- Num Lock がオフのときは、矢印キー、page up キー、page down キーなどのキーと同様に機能します。

外付けテンキーで Num Lock をオンにすると、コンピュータの Num Lock ランプが点灯します。外付けテンキーで Num Lock をオフにすると、コンピュータの Num Lock ランプが消灯します。

作業中に外付けテンキーの Num Lock のオンとオフを切り替えるには、以下の操作を行います。

▲ コンピュータではなく、外付けテンキーの num lk キーを押します。

7　タッチパッドとキーボードの清掃

タッチパッドにごみや脂が付着していると、ポインタが画面上で滑らかに動かなくなる場合があります。これを防ぐには、軽く湿らせた布でタッチパッドを定期的に清掃し、コンピュータを使用するときは手をよく洗います。

⚠ **警告！**　感電や内部コンポーネントの損傷を防ぐため、掃除機のアタッチメントを使ってキーボードを清掃しないでください。キーボードの表面に、掃除機からのごみくずが落ちてくることがあります。

キーが固まらないようにするため、また、キーの下に溜まったごみや糸くず、細かいほこりを取り除くために、キーボードを定期的に清掃します。圧縮空気が入ったストロー付きの缶を使ってキーの周辺や下に空気を吹き付けると、付着したごみがはがれて取り除きやすくなります。

索引